



令和3年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年2月10日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2533 URL https://www.oeonon.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西永 裕司  
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション室長 (氏名)田中 直子 (TEL)03-6757-4584  
 定時株主総会開催予定日 令和4年3月23日 配当支払開始予定日 令和4年3月24日  
 有価証券報告書提出予定日 令和4年3月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年12月期の連結業績(令和3年1月1日~令和3年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期	78,618	1.2	1,207	△45.7	1,267	△43.6	299	△73.9
2年12月期	77,712	3.0	2,221	26.7	2,248	28.8	1,147	3.9

(注) 包括利益 3年12月期 399百万円 (△59.5%) 2年12月期 987百万円 (△22.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
3年12月期	5.03	—	1.5	2.4	1.5
2年12月期	19.26	—	5.8	4.3	2.9

(参考) 持分法投資損益 3年12月期 — 百万円 2年12月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年12月期	52,280	22,045	38.3	336.73
2年12月期	51,724	22,081	38.7	336.41

(参考) 自己資本 3年12月期 20,013 百万円 2年12月期 19,994 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
3年12月期	1,550	△2,865	1,390	986
2年12月期	4,762	△3,550	△1,494	910

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2年12月期	—	—	—	7.00	7.00	419	36.3	2.1
3年12月期	—	—	—	7.00	7.00	419	139.2	2.1
4年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00		416.7	

3. 令和4年12月期の連結業績予想(令和4年1月1日~令和4年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	△1.4	300	△75.1	300	△76.3	100	△66.6	1.68

(注) 令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。  
 なお、売上高及び利益に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年12月期	65,586,196株	2年12月期	65,586,196株
② 期末自己株式数	3年12月期	6,153,362株	2年12月期	6,152,454株
③ 期中平均株式数	3年12月期	59,433,316株	2年12月期	59,581,383株

(参考) 個別業績の概要

1. 令和3年12月期の個別業績（令和3年1月1日～令和3年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期	2,494	0.7	1,234	13.8	1,194	16.6	839	17.2
2年12月期	2,476	△2.8	1,084	19.8	1,024	20.0	716	△26.8

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
3年12月期	14	13	—	—
2年12月期	12	03	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
3年12月期	34,778		16,633		47.8	279	87	
2年12月期	33,436		16,167		48.4	272	03	

(参考) 自己資本 3年12月期 16,633 百万円 2年12月期 16,167 百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(追加情報) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

○決算参考資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展などにより新規陽性者数が減少し、経済活動・社会活動の正常化に向けた動きが見られたものの、新たな変異株の出現により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、中長期戦略「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱を軸として、「中期経営計画2023」の目標達成に向けた取組みを引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、78,618百万円（前期比1.2%増）となりました。利益面では、原料である粗留アルコールやコーン価格の大幅な高騰などの影響を受け、営業利益は1,207百万円（前期比45.7%減）、経常利益は1,267百万円（前期比43.6%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、事業再編損失等の特別損失を計上したこともあり、299百万円（前期比73.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <販売実績>

セグメントの名称	アイテム(主要製品)	当連結会計年度 (自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日) (百万円)	前期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	38,369	97.5
		チューハイ	12,482	120.8
		清酒	3,320	93.8
		合成清酒	1,885	91.2
		販売用アルコール	9,302	96.5
		みりん	705	95.0
			66,066	100.6
	洋酒部門	4,437	107.4	
	その他の部門	594	99.8	
		71,099	101.0	
加工用澱粉		3,810	106.3	
酵素医薬品		3,277	99.5	
不動産		360	102.4	
その他		71	98.2	
	合 計	78,618	101.2	

#### 【酒類事業】

酒類事業におきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。飲用シーン別においては、度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用による営業自粛、時短営業及びアルコール類の提供自粛により、飲食店向けの焼酎・清酒等が減少する一方、家飲みが定着したことで、市場の伸張が続くチューハイなどのRTD分野に加えて、居酒屋の味を自宅で自分好みに楽しむことができる“チューハイの素”と呼ばれる、割って飲む希釈タイプのリキュール(RTS)の市場が急速に拡大しております。このような環境の下、売上高は71,099百万円(前期比1.0%増)となりました。利益面につきましては、粗留アルコール等の原材料価格の高騰が大きく響き、499百万円の営業利益(前期比61.0%減)となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、本格焼酎の「博多の華」シリーズや甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」シリーズが好調に推移したものの、PB商品等の減少により、売上高は減少いたしました。同カテゴリーでは、しそ焼酎「鍛高譚」の公式Twitterアカウントの開設を記念した「鍛高譚公式アカウント開設記念&ご愛顧感謝キャンペーン」を実施するなど、日頃のご愛顧に感謝するとともに、商品認知向上、さらなるファン層

の獲得に向け、SNSを活用した情報発信を行ってまいりました。その他、しそ焼酎「鍛高譚」は「日本ネーミング大賞2021」の地域ソウルブランド部門で最優秀賞を受賞いたしました。同賞は、ネーミングの重要性を広く社会に発信することでネーミングの質と価値の向上を図り、豊かな生活文化と産業の発展に寄与することを目的としています。

チューハイなどのRTD分野につきましては、「直球勝負」シリーズを始めとしたNB商品やPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。同カテゴリでは、InstagramやTwitterのオエノングループ公式アカウントを利用し、「NIPPON PREMIUM」シリーズや「昔懐かしいレモンサワー」が当たるプレゼントキャンペーンを実施するなど、企業及び商品認知の向上を目指した活動を積極的に展開いたしました。

清酒につきましては、飲食店に対する営業自粛・時短要請によって市場の低迷が続いている影響で売上高は減少いたしました。

販売用アルコールにつきましては、前期に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消毒用アルコールの全国的な特需がありました工業用アルコールが減少したことにより、売上高は減少いたしました。

洋酒部門につきましては、RTSの「耐ハイ専科 レモンサワーの素」やPB商品、「ウイスキー 香薫(こうくん)」が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

#### 【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業につきましては、菓子用が増加したことや原料であるコーン価格の大幅な高騰の中、販売価格の改定に取り組んだことにより、売上高は3,810百万円(前期比6.3%増)となりました。しかしながら、それでも原価の上昇をカバーできず、59百万円の営業損失(前期は148百万円の営業利益)となりました。

#### 【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、国内生産支援ビジネスは増加したものの、海外向け酵素が減少したため、売上高は3,277百万円(前期比0.5%減)、営業利益は566百万円(前期比4.2%減)となりました。

#### 【不動産事業】

不動産事業につきましては、売上高は360百万円(前期比2.4%増)、営業利益は185百万円(前期比0.4%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産につきましては、52,280百万円となり、売上債権が減少したものの、有形固定資産及び棚卸資産が増加したため、前連結会計年度末と比較し556百万円の増加となりました。

負債につきましては、30,235百万円となり、長期借入金や未払消費税等が減少したものの、短期借入金が増加したため、前連結会計年度末と比較して591百万円の増加となりました。

純資産につきましては、22,045百万円となり、前連結会計年度末と比較して35百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は986百万円となり、前連結会計年度末と比較して75百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加額は、1,550百万円(前期比3,211百万円減)となりました。これは主に未払消費税等の減少額664百万円等がありましたものの、減価償却費1,711百万円、税引前当期純利益464百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出2,601百万円等がありましたので、2,865百万円(前期比684百万円増)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、長期借入金の返済による支出750百万円、配当金の支払額419百万円等がありましたものの、短期借入金の増加額2,650百万円等がありましたので、1,390百万円(前期比2,884百万円増)の資金増加となりました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	令和元年12月期	令和2年12月期	令和3年12月期
自己資本比率 (%)	37.6	38.7	38.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	45.5	47.1	40.9
キャッシュ・フロー対有利子負債率 (年)	1.4	1.0	4.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	57.0	72.3	26.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

酒類市場におきましては、人口減少・少子高齢化による需要の縮小や消費者の嗜好の変化による需要の多様化、節約志向・低価格志向の高まりなどによって、企業間での販売競争が激化しております。また、コスト面では、企業努力のみでは吸収しきれなくなった原料価格やエネルギー価格、資材価格、物流費の高騰への対応も迫られております。

乳製品用酵素市場におきましては、健康志向の高まりによる市場規模の拡大とともに、国際的な巨大企業を含む国内外の企業との価格競争や研究・開発競争が進んでおります。

このような状況下において、当社グループは、「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱（「焼酎事業に集中」「アルコール事業 販売の拡大」「生産改革」「酵素医薬品事業の新展開」「CRE戦略」）を軸として、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値の最大化を目指してまいります。

##### <焼酎事業に集中>

当社グループの強みである焼酎事業に経営資源を集中し、規模拡大、利益の最大化を目指してまいります。また、強化ブランドを明確にし、効率的なマーケティングを進めてまいります。

甲類焼酎につきましては、「ビッグマン」の全国レベルでの認知度・配荷率アップを目指してまいります。

甲類乙類混和焼酎のしそ焼酎「鍛高譚」につきましては、手軽に購入できるバック商品を軸とした展開を進めてまいります。また、好調な「すごむぎ」「すごいも」シリーズにつきましては、原材料価格の高騰に対応すべく、リニューアルに伴う新価格での提案を進め、収益改善に努めてまいります。

乙類焼酎の「博多の華」につきましては、本格麦焼酎NO.2の地位を揺るぎないものとし、売上高100億円規模のシリーズに育成してまいります。

更なる市場の拡大が予想されるチューハイの素につきましては、コロナ禍で伸張するRTS需要に対応すべく、新たなフレーバーの展開を検討し、拡売を進めてまいります。

RTDにつきましては、合同酒精とオエノンプロダクトサポートが、お互いの強みを活かし弱みを補うことで、消費者の趣向の多様化に柔軟に対応し、グループ全体の収益の最大化に繋げてまいります。

##### <アルコール事業 販売の拡大>

販売用アルコールにつきましては、粗留アルコールの仕入価格の高騰に対応すべく、生産性の向上やコスト低減を強力に推し進めるとともに、新価格での提案を行い、収益改善に努めてまいります。

##### <生産改革>

原料価格・エネルギー価格の高止まり、資材価格・物流費の上昇といった環境の変化に対応し、収益性の改善を図るため、絶え間ない合理化とコスト低減に徹底的に取り組むとともに、真に市場競争力のある商品を開発し、供給できる生産体制を構築してまいります。

また、蒸留設備への自己熱再生システムの導入や工場の重油ボイラーのLNGへの燃料転換など温室効果ガス低減に寄与する設備投資やリサイクル原料使用のペットボトル容器への変更を進め、低炭素社会の実現や循環型社会の形成に貢献してまいります。

<酵素医薬品事業の新展開>

主力のラクターゼにつきましては、更なるコスト低減に努め、海外での価格競争力を強化してまいります。また、既存ラクターゼの改良品やポストラクターゼとなる新商品の開発を早急に進めてまいります。

生産支援ビジネスにつきましては、既存受託品目の販売拡大や新規受託品目の獲得に取り組み、安定的に収益を確保できる分野へ育成してまいります。

<CRE戦略>

不動産事業の大きな収益の柱となる銀座ビル跡地開発計画を着実に進めてまいります。また、その他グループ保有不動産の有効活用を積極的に進め、安定的な収益を確保し、グループ全体の収益の下支えとなる事業に育成してまいります。

以上をふまえ、次期の見通しに関しましては、連結売上高77,500百万円（前期比1.4%減）、連結営業利益300百万円（前期比75.1%減）、連結経常利益300百万円（前期比76.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益100百万円（前期比66.6%減）を予定しております。

なお、令和4年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用いたしますが、当該会計基準等を適用することによる、売上高及び利益に与える影響額は軽微であります。

	令和3年12月期	令和4年12月期 予想	増減額	増減率
売上高	百万円 78,618	百万円 77,500	百万円 △1,118	△1.4%
営業利益	1,207	300	△907	△75.1%
経常利益	1,267	300	△967	△76.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	299	100	△199	△66.6%
売上高経常利益率	1.6%	0.4%		
1株当たりの配当金	7円	7円	—	100.0%
ROE	1.5%	0.5%		

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を最重要政策の一つとして位置づけております。この政策の下、当社の業績、連結決算の状況、中長期的な収益状況、設備投資計画、適正な内部留保額、配当性向などを総合的に勘案しながら、継続的・安定的な配当を行い、かつ中期的には配当金を漸増させていくことを基本方針としております。

この方針に基づき、当期の配当金につきましては、前期と同様1株当たり7円とさせていただくことを予定しております。

また、次期の配当金につきましても1株当たり7円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。



3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当連結会計年度 (令和3年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	915	990
受取手形及び売掛金	16,869	16,295
商品及び製品	5,903	5,710
仕掛品	151	200
原材料及び貯蔵品	1,452	1,955
前払費用	110	99
その他	120	363
貸倒引当金	△31	△18
流動資産合計	25,491	25,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,589	26,053
減価償却累計額	△18,873	△19,282
建物及び構築物（純額）	6,716	6,770
機械装置及び運搬具	35,879	36,076
減価償却累計額	△29,556	△30,192
機械装置及び運搬具（純額）	6,323	5,883
工具、器具及び備品	1,762	1,636
減価償却累計額	△1,644	△1,510
工具、器具及び備品（純額）	117	125
土地	9,673	9,620
リース資産	293	220
減価償却累計額	△160	△135
リース資産（純額）	132	85
建設仮勘定	328	1,277
有形固定資産合計	23,290	23,763
無形固定資産		
のれん	9	7
ソフトウェア	125	139
その他	114	151
無形固定資産合計	248	298
投資その他の資産		
投資有価証券	1,331	1,404
長期前払費用	143	105
繰延税金資産	983	891
退職給付に係る資産	32	17
その他	206	208
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,693	2,622
固定資産合計	26,232	26,684
資産合計	51,724	52,280



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当連結会計年度 (令和3年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,696	4,699
電子記録債務	1,345	1,624
短期借入金	1,050	3,700
リース債務	73	43
未払金	4,357	4,400
未払費用	176	169
未払酒税	8,889	8,726
未払消費税等	1,729	1,077
未払法人税等	552	147
預り金	330	340
賞与引当金	58	60
役員賞与引当金	40	17
株主優待引当金	18	18
設備関係支払手形	304	159
設備関係電子記録債務	206	76
その他	139	89
流動負債合計	23,968	25,350
固定負債		
長期借入金	750	-
長期預り金	3,179	3,140
リース債務	69	49
繰延税金負債	146	164
役員株式給付引当金	76	101
退職給付に係る負債	1,258	1,282
資産除去債務	113	53
その他	80	92
固定負債合計	5,674	4,884
負債合計	29,643	30,235
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,599	5,601
利益剰余金	8,683	8,563
自己株式	△1,577	△1,578
株主資本合計	19,652	19,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	275	354
繰延ヘッジ損益	△29	53
退職給付に係る調整累計額	95	71
その他の包括利益累計額合計	341	480
非支配株主持分	2,086	2,032
純資産合計	22,081	22,045
負債純資産合計	51,724	52,280

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和2年1月1日 至 令和2年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)
売上高	77,712	78,618
売上原価	63,689	65,967
売上総利益	14,023	12,651
販売費及び一般管理費	11,802	11,444
営業利益	2,221	1,207
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	33	33
受取賃貸料	74	71
雑収入	46	62
営業外収益合計	154	167
営業外費用		
支払利息	60	60
操業休止等経費	25	26
売上債権売却損	9	10
減価償却費	15	-
雑損失	15	9
営業外費用合計	127	106
経常利益	2,248	1,267
特別利益		
固定資産売却益	0	0
資産除去債務戻入益	-	60
その他	13	2
特別利益合計	14	62
特別損失		
固定資産除売却損	310	54
減損損失	-	145
事業再編損失	62	616
投資有価証券評価損	86	44
投資有価証券売却損	-	2
その他	4	1
特別損失合計	462	865
税金等調整前当期純利益	1,799	464
法人税、住民税及び事業税	639	155
法人税等調整額	△32	48
法人税等合計	606	203
当期純利益	1,192	261
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	45	△37
親会社株主に帰属する当期純利益	1,147	299

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和2年1月1日 至 令和2年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)
当期純利益	1,192	261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	78
繰延ヘッジ損益	△33	83
退職給付に係る調整額	△19	△23
その他の包括利益合計	△205	138
包括利益	987	399
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	942	437
非支配株主に係る包括利益	44	△37

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 令和2年1月1日 至 令和2年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,946	5,598	7,961	△1,271	19,234
当期変動額					
剰余金の配当			△425		△425
親会社株主に帰属する当期純利益			1,147		1,147
自己株式の取得				△306	△306
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1			1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	722	△306	417
当期末残高	6,946	5,599	8,683	△1,577	19,652

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	428	4	114	546	2,058	21,840
当期変動額						
剰余金の配当						△425
親会社株主に帰属する当期純利益						1,147
自己株式の取得						△306
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△152	△33	△19	△205	28	△176
当期変動額合計	△152	△33	△19	△205	28	240
当期末残高	275	△29	95	341	2,086	22,081

当連結会計年度(自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,946	5,599	8,683	△1,577	19,652
当期変動額					
剰余金の配当			△419		△419
親会社株主に帰属する当期純利益			299		299
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1			1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	△120	△0	△119
当期末残高	6,946	5,601	8,563	△1,578	19,532

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	275	△29	95	341	2,086	22,081
当期変動額						
剰余金の配当						△419
親会社株主に帰属する当期純利益						299
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	78	83	△23	138	△54	83
当期変動額合計	78	83	△23	138	△54	△35
当期末残高	354	53	71	480	2,032	22,045

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和2年1月1日 至 令和2年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,799	464
減価償却費	1,751	1,711
減損損失	—	145
のれん償却額	63	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25	△12
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	21	25
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	△23
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	3	△0
受取利息及び受取配当金	△33	△33
支払利息	60	60
固定資産売却益	0	△0
投資有価証券評価損	86	44
投資有価証券売却損	—	2
資産除去債務戻入益	—	△60
固定資産除売却損	310	54
事業再編損失	62	616
売上債権の増減額 (△は増加)	177	574
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△280	△358
仕入債務の増減額 (△は減少)	△423	282
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,073	△664
未払酒税の増減額 (△は減少)	522	△163
その他	△73	191
小計	5,172	2,861
利息及び配当金の受取額	33	33
利息の支払額	△65	△59
事業再編による支払額	△63	△526
法人税等の支払額	△313	△758
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,762	1,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和2年1月1日 至 令和2年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4	△4
定期預金の払戻による収入	4	4
固定資産の取得による支出	△3,642	△2,601
固定資産の除却による支出	△105	△222
国庫補助金による収入	54	—
地方自治体からの補助金による収入	360	—
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
その他	△210	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,550	△2,865
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	2,650
長期借入金の返済による支出	△750	△750
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16	△73
自己株式の取得による支出	△306	△0
配当金の支払額	△425	△419
非支配株主への配当金の支払額	△12	△12
その他	16	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,494	1,390
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△282	75
現金及び現金同等物の期首残高	1,192	910
現金及び現金同等物の期末残高	910	986



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当連結会計年度においては、度重なる緊急事態宣言発出やまん延防止等重点措置の適用による営業自粛、時短営業及びアルコール類の提供自粛により、飲食店向けの焼酎・清酒等が減少する一方、家飲みが定着したことで、チューハイやチューハイの素などの市場が伸張しており、全体に与える影響は軽微であったと考えております。

以上のことから、当社グループが連結財務諸表の作成に当たって用いた会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損等）については、現時点においては新型コロナウイルス感染症による重要な影響はないものと仮定して算定しております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス等を基礎としたセグメントから構成されており、「酒類」、「加工用澱粉」、「酵素医薬品」、「不動産」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントの主な製品・サービスは、次のとおりであります。

事業区分	主な製品・サービス
酒類	焼酎、チューハイ、清酒、合成清酒、梅酒、洋酒、製菓用洋酒、酒類原料用・工業用アルコール、調味料
加工用澱粉	加工用澱粉
酵素医薬品	酵素、診断薬、生産支援ビジネス
不動産	不動産の売買、不動産の賃貸

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 令和2年1月1日 至 令和2年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	70,412	3,582	3,293	351	77,640	72	—	77,712
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	—	—	9	—	△9	—
計	70,421	3,582	3,293	351	77,649	72	△9	77,712
セグメント利益	1,281	148	591	186	2,208	13	—	2,221
セグメント資産	40,212	2,184	3,824	1,711	47,932	58	3,734	51,724
その他の項目								
減価償却費	1,187	62	246	34	1,530	0	220	1,751
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	937	61	141	8	1,149	—	558	1,707

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△9百万円は、セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額3,734百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び全社資産3,734百万円が含まれております。全社資産の主なものは、余資運用資金(現金及び預金)、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額220百万円は、全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額558百万円は全社資産に係る増加額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	71,099	3,810	3,277	360	78,547	71	—	78,618
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	—	—	—	12	—	△12	—
計	71,111	3,810	3,277	360	78,559	71	△12	78,618
セグメント利益又は セグメント損失(△)	499	△59	566	185	1,192	14	—	1,207
セグメント資産	39,049	2,676	3,460	2,516	47,704	47	4,528	52,280
その他の項目								
減価償却費	1,215	56	243	46	1,562	0	148	1,711
減損損失	145	—	—	—	145	—	—	145
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	593	20	85	312	1,011	—	1,256	2,268

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△12百万円は、セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額4,528百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び全社資産4,529百万円が含まれております。全社資産の主なものは、余資運用資金(現金及び預金)、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額148百万円は、全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,256百万円は全社資産に係る増加額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 令和2年1月1日 至 令和2年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)
1株当たり純資産額	336円41銭	336円73銭
1株当たり当期純利益	19円26銭	5円03銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当連結会計年度 (令和3年12月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	22,081	22,045
普通株式に係る純資産額(百万円)	19,994	20,013
連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	2,086	2,032
普通株式の発行済株式数(千株)	65,586	65,586
普通株式の自己株式数(千株)	6,152	6,153
1株当たりの純資産の算定に用いられた普通株式の数(千株)	59,433	59,432

- 3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成2年1月1日 至 令和2年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,147	299
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,147	299
普通株式の期中平均株式数(千株)	59,581	59,433

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 令和3年12月期 決算参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. 要約連結損益計算書（当四半期）
3. セグメント別売上高
4. 利益増減要因
5. 要約連結貸借対照表
6. 連結業績予想
7. 予想売上高

**オエノンホールディングス株式会社**

令和4年2月10日

# 1. 要約連結損益計算書

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和2年 1月 1日 至 令和2年12月31日	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日		
酒類事業	70,412	71,099	687	101.0
加工用澱粉事業	3,582	3,810	227	106.3
酵素医薬品事業	3,293	3,277	△ 15	99.5
不動産事業その他	424	431	7	101.7
売上高	77,712	78,618	906	101.2
売上原価	63,689	65,967	2,277	103.6
売上総利益	14,023	12,651	△ 1,371	90.2
販売費及び一般管理費	11,802	11,444	△ 357	97.0
酒類事業	1,281	499	△ 782	39.0
加工用澱粉事業	148	△ 59	△ 207	-
酵素医薬品事業	591	566	△ 25	95.8
不動産事業その他	199	200	1	100.5
営業利益	2,221	1,207	△ 1,013	54.3
営業外収益	154	167	12	108.0
営業外費用	127	106	△ 20	84.1
経常利益	2,248	1,267	△ 981	56.4
特別利益	14	62	48	443.8
特別損失	462	865	402	187.0
税金等調整前当期純利益	1,799	464	△ 1,335	25.8
法人税等合計	606	203	△ 403	33.5
当期純利益	1,192	261	△ 931	21.9
非支配株主に帰属する当期純利益	45	△ 37	△ 83	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,147	299	△ 848	26.1
1株当たり当期純利益(円)	19.26	5.03	△ 14.23	26.1
設備投資額	1,671	2,190	518	131.0

## 2. 要約連結損益計算書(当四半期)

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和2年10月1日 至 令和2年12月31日	自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日		
酒類事業	20,004	20,135	131	100.7
加工用澱粉事業	858	1,015	156	118.2
酵素医薬品事業	465	587	121	126.0
不動産事業その他	104	114	10	110.2
売上高	21,433	21,853	420	102.0
売上原価	17,153	18,491	1,337	107.8
売上総利益	4,279	3,362	△ 916	78.6
販売費及び一般管理費	3,201	3,108	△ 93	97.1
酒類事業	985	180	△ 804	18.3
加工用澱粉事業	20	△ 39	△ 59	-
酵素医薬品事業	10	61	50	571.9
不動産事業その他	61	52	△ 9	84.6
営業利益	1,077	254	△ 823	23.6
営業外収益	36	48	11	132.3
営業外費用	27	28	0	102.7
経常利益	1,086	274	△ 812	25.2
特別利益	13	62	49	469.5
特別損失	85	150	64	176.0
税金等調整前四半期純利益	1,014	186	△ 828	18.3
法人税等合計	378	112	△ 265	29.8
四半期純利益	635	73	△ 562	11.5
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	△ 19	△ 24	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	630	92	△ 538	14.6

### 3. セグメント別売上高

単位：百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和2年 1月 1日 至 令和2年12月31日	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日		
焼 酎	39,357	38,369	△ 988	97.5
（ 甲 類 焼 酎 ）	(13,922)	(13,541)	(△ 380)	(97.3)
（ 乙 類 焼 酎 ）	(25,435)	(24,828)	(△ 607)	(97.6)
チ ュ ー ハ イ	10,336	12,482	2,146	120.8
清 酒	3,540	3,320	△ 219	93.8
合 成 清 酒	2,066	1,885	△ 181	91.2
販 売 用 ア ル コ ー ル	9,642	9,302	△ 339	96.5
み り ん	742	705	△ 37	95.0
洋 酒	4,130	4,437	307	107.4
そ の 他	595	594	△ 0	99.8
酒 類 計	70,412	71,099	687	101.0
加 工 用 澱 粉	3,582	3,810	227	106.3
酵 素 医 薬 品	3,293	3,277	△ 15	99.5
不 動 産	351	360	8	102.4
そ の 他	72	71	△ 1	98.2
合 計	77,712	78,618	906	101.2



#### 4. 利益増減要因

単位:百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 782	売上高増加による総利益増+100 原材料コストの上昇による原価増△1,620 人件費など製造経費の減+190 販売促進費など販管費の減+300 製品構成の影響等+248
加工用澱粉事業	△ 207	原料(コーン)価格の高騰
酵素医薬品事業	△ 25	輸出酵素の減
不動産事業その他	1	
営業利益	△ 1,013	
営業外収益	12	
営業外費用	20	旧本社ビル(銀座)減価償却費の減
経常利益	△ 981	
特別利益	48	
特別損失	△ 402	事業再編損失の増
税金等調整前当期純利益	△ 1,335	
法人税等	403	
当期純利益	△ 931	
非支配株主に帰属する当期純利益	83	
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 848	

## 5. 要約連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 令和2年12月31日	当連結会計年度 令和3年12月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	915	990	75	108.3	
受取手形及び売掛金	16,869	16,295	△ 574	96.6	サイト短縮および債権譲渡の増
たな卸資産	7,507	7,866	358	104.8	
その他	231	463	232	200.5	
貸倒引当金	△ 31	△ 18	12	-	
流動資産合計	25,491	25,596	104	100.4	
建物	4,924	5,064	139	102.8	
土地	9,673	9,620	△ 52	99.5	
その他	8,692	9,077	385	104.4	銀座ビル跡地開発建設仮勘定の増
有形固定資産計	23,290	23,763	472	102.0	
無形固定資産	248	298	49	120.1	
投資有価証券	1,331	1,404	73	105.5	
長期前払費用	143	105	△ 37	73.9	
繰延税金資産	983	891	△ 91	90.7	
その他	239	225	△ 14	94.0	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,693	2,622	△ 70	97.4	
固定資産合計	26,232	26,684	451	101.7	
資産合計	51,724	52,280	556	101.1	

単位:百万円

	前連結会計年度 令和2年12月31日	当連結会計年度 令和3年12月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,042	6,324	282	104.7	
短期借入金	1,050	3,700	2,650	352.4	
未払金	4,357	4,400	42	101.0	
未払酒税	8,889	8,726	△ 163	98.2	
その他	3,629	2,199	△ 1,429	60.6	未払消費税、未払法人税の減
流動負債合計	23,968	25,350	1,381	105.8	
長期借入金	750	-	△ 750	-	
その他	4,924	4,884	△ 39	99.2	
固定負債合計	5,674	4,884	△ 789	86.1	
負債合計	29,643	30,235	591	102.0	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,599	5,601	1	100.0	
利益剰余金	8,683	8,563	△ 120	98.6	
自己株式	△ 1,577	△ 1,578	△ 0	-	
株主資本合計	19,652	19,532	△ 119	99.4	
その他有価証券評価差額金	275	354	78	128.4	
繰延ヘッジ損益	△ 29	53	83	-	
退職給付に係る調整累計額	95	71	△ 23	75.6	
その他の包括利益累計額合計	341	480	138	140.5	
非支配株主持分	2,086	2,032	△ 54	97.4	
純資産合計	22,081	22,045	△ 35	99.8	
負債純資産合計	51,724	52,280	556	101.1	
自己資本比率(%)	38.7	38.3	△ 0.4		

## 6. 連結業績予想

単位:百万円

	当連結会計年度 自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	翌連結会計年度 自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	71,099	69,482	△ 1,616	97.7
加工用澱粉事業	3,810	4,194	384	110.1
酵素医薬品事業	3,277	3,289	11	100.4
不動産事業その他	431	533	102	123.6
売上高	78,618	77,500	△ 1,118	98.6
売上原価	65,967	65,890	△ 76	99.9
売上総利益	12,651	11,609	△ 1,042	91.8
販売費及び一般管理費	11,444	11,309	△ 135	98.8
酒類事業	499	△ 348	△ 848	-
加工用澱粉事業	△ 59	△ 103	△ 44	-
酵素医薬品事業	566	502	△ 64	88.7
不動産事業その他	200	249	49	124.4
営業利益	1,207	300	△ 907	24.9
営業外損益	60	0	△ 60	-
経常利益	1,267	300	△ 967	23.7
特別損益	△ 802	△ 200	602	-
税金等調整前当期純利益	464	100	△ 364	21.5
法人税等合計	203	48	△ 154	24.0
当期純利益	261	51	△ 209	19.6
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 37	△ 48	△ 10	-
親会社株主に帰属する当期純利益	299	100	△ 199	33.4

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(翌連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。なお、売上高及び利益に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。

## 7. 予想売上高

単位:百万円

	当連結会計年度	翌連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日		
焼 酎	38,369	38,367	△ 2	100.0
( 甲 類 焼 酎 )	(13,541)	(13,856)	(315)	(102.3)
( 乙 類 焼 酎 )	(24,828)	(24,510)	(△ 317)	(98.7)
チ ュ ー ハ イ	12,482	12,694	212	101.7
清 酒	3,320	3,259	△ 60	98.2
合 成 清 酒	1,885	1,844	△ 41	97.8
販 売 用 ア ル コ ー ル	9,302	7,373	△ 1,929	79.3
み り ん	705	679	△ 25	96.3
洋 酒	4,437	4,685	247	105.6
そ の 他	594	577	△ 16	97.1
酒 類 計	71,099	69,482	△ 1,616	97.7
加 工 用 澱 粉	3,810	4,194	384	110.1
酵 素 医 薬 品	3,277	3,289	11	100.4
不 動 産	360	461	101	128.2
そ の 他	71	71	0	100.4
合 計	78,618	77,500	△ 1,118	98.6

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(翌連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。